

街かど診療室
Q & A

黄斑前膜について

眼球の表面に見える黒目を角膜といいます。その奥に瞳といわれる虹彩と瞳孔があり、その奥に水晶体があり、これが固くなれば老眼になり、さらに固くなったり濁ってくることで白内障になります。その奥に眼球の大部分を占める硝子体という透明なゼリーが充満しており、この濁りなどが飛蚊症などを引き起こします。その奥、眼球の一番奥底を眼底といい、その表面には網膜という光を感じるフィルムのような精密な神経組織が広がっています。



伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

この網膜に増殖組織が生じ、物が歪んで見えたり(歪視・わいし)大きく見えたり(大視症)して見えづらさが増強する疾患を黄斑前膜(黄斑上)の皺が描出されます。以前は症状が強くなる早めに専門医の診断を受けることが肝要です。

手術をするかは未だ策が、手術をしてもほとんど定まっていますが、最近の学会での流れは、視力が良くても歪みの自覚や大きさの違いにより、日常生活の見え方の違和感があれば、手術するほうが良いというものです。

10年以上前の網膜硝子体手術は、眼球に1ミリの傷を3カ所開け

る硝子体という透明なゼリーが充満しており、この濁りなどが飛蚊症などを引き起こします。その奥、眼球の一番奥底を眼底といい、その表面には網膜という光を感じるフィルムのような精密な神経組織が広がっています。

この網膜に増殖組織が生じ、物が歪んで見えたり(歪視・わいし)大きく見えたり(大視症)して見えづらさが増強する疾患を黄斑前膜(黄斑上)の皺が描出されます。以前は症状が強くなる早めに専門医の診断を受けることが肝要です。

手術をするかは未だ策が、手術をしてもほとんど定まっていますが、最近の学会での流れは、視力が良くても歪みの自覚や大きさの違いにより、日常生活の見え方の違和感があれば、手術するほうが良いというものです。

10年以上前の網膜硝子体手術は、眼球に1ミリの傷を3カ所開け

☎ 042-439-8123
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術
白内障手術、眼科一般診療

■時間：土曜午後、木・日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 ※月・水曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○	○
14:00~17:30	手術	手術	手術	手術	手術	手術	手術